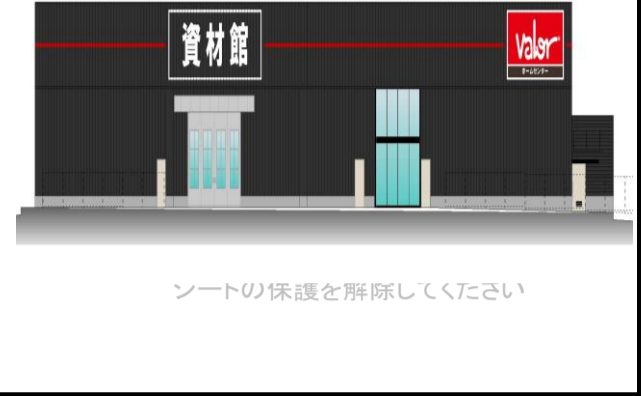


CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新)2016年版、名古屋市長官庁建築環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームセンターパロー千音寺店 資材館 新築工事 資材館棟	階数	地上1F
建設地	愛知県名古屋市中川区富田町大字千音寺字無田居1888番1、1927番 (保留地)愛知県名古屋市中川区千音寺土地区画整理事業地内93街区仮1番 (仮換地)愛知県名古屋市中川区千音寺土地区画整理事業地内93街区仮2番	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	1,000,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,278 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 竣工	評価の実施日	2021年12月14日
敷地面積	11,761 m ²	作成者	
建築面積	3,601 m ²	確認日	2021年12月14日
延床面積	3,584 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

= BEE1.1

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地の周りに植栽を取り入れ、景観に配慮している。 来客数に応じた十分な駐車スペースを確保している。 売場内の天井高を確保することで開放的な店舗となっている。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	一般的な設定値である室温の確保ができています。	Q2 サービス性能 メインとなる売場の天井高が十分に取れ、開放的な店舗となっている。
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地内に緑地を十分に施し、景観へ配慮している。	
LR1 エネルギー	BEImが0.69で設備システムの高効率化がされている。	LR2 資源・マテリアル 内装材が容易に取り外しができ、再利用可能性向上への取り組みがされている。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車場の確保により、交通負荷の抑制がされている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される




重点項目スコア・結果シート

(仮称)ホームセンターパロー千音寺店 資材館 新築工事 資材館棟

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.1
LR1	エネルギー	4.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 4.1
	
2. 自然共生	評価点 = 1.6
	
3. 循環型社会	評価点 = 2.8
	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。